さくら中原1　　支援プログラム

○　健康・生活の領域

1．定期的な心身の把握

→入室時などに体温確認を行うことで自身の体調を把握出来るようになることを目指します。

2．生活リズムの安定

→ホワイトボード等に個人スケジュールを提示し、本人に確認・実施してもらうことで安定した活動が出来るようになることを目指します。

3．構造化を意識した部屋のレイアウトの提示

→活動場所を視覚的に確認できるよう見取図を作成し、教室内に提示をしています。

4．衣服の着脱

→「来所後の制服から活動着への着替え」「上着の着脱」「排泄時の衣服の着脱」等のタイミングで取り組み、衣服着脱の為のスキル習得を目指します。

5．身だしなみや整え方

→排泄後などのタイミングで確認し、必要に応じて声掛けを行います。鏡を見て自身の身だしなみを把握して、整えられるようになることを目指します。

6．SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練

→グループ活動を中心に取り組んでいきます。

○　運動・感覚の領域

１．姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善

→個別課題やグループ活動を中心に取り組んでいきます。必要に応じてバランスボール等を使用します。

２．視覚、聴覚、触覚などの感覚活動

→フリータイム（遊び時間）を中心に取り組んでいきます。

３．つかむ・支える等の要素を取り入れた遊びの提供

→フリータイム（遊び時間）を中心に取り組んでいきます。

４．ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動

→グループ活動を中心に取り組んでいきます。

５．指先トレーニング

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

６．ビジョントレーニング

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

７．音楽に合わせて体を動かす

→グループ活動や金曜日のダンス活動を中心に取り組んでいきます。

○　認知・行動の領域

１．物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

２．空間・時間等の概念の把握

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

３．天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

４．1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成

→教室内に全体スケジュールを掲示して、ご利用者様自身で確認・実施出来る環境を整えていきます。

５．ブロック操作による空間把握の認知形成

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

６．小集団でのゲームでの適切な行動

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

７．季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動

→ご利用者様・スタッフの人数や気温・天候などを考慮した上で、安全確保が出来た場合に取り組みます。

○　言語・コミュニケーションの領域

１．文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用

→ご利用者様の状態を踏まえ、必要に応じて取り組んでいきます。

２．今日の気分・気持ちや活動の振り返りなどを言語表出・受容

→個別課題やグループ活動など様々な場面で取り組んでいきます。

３．個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き

→個別課題を中心に取り組んでいきます。

４．自己紹介・他己紹介

→時期や状況に応じて支援を行う機会を作っていきます。

５．ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化

→ご利用者様の状態を踏まえ、必要に応じて取り組んでいきます。

６．非言語表現を用いた多様なコミュニケーション

→ご利用者様の状態を踏まえ、必要に応じて取り組んでいきます。

○　人間関係・社会性の領域

１．アタッチメント形成（自尊心を高める・認める）

→褒められる機会を作り、成功体験を積み重ねられるよう支援を行います。

２．見本になる子供の近くに誘う等の関わり・促し

→グループ活動を中心に取り組んでいきます。

３．見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ

→フリータイム（遊び時間）を中心に取り組む機会を作っていきます。

４．一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ

→フリータイム（遊び時間）を中心に取り組む機会を作っていきます。

５．役割分担のある遊びなどの協同遊び

→グループ活動を中心に取り組んでいきます。

６．ルールの理解が必要な遊びや集団活動

→グループ活動を中心に取り組んでいきます。